

令和3年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	総事業費(円)	国庫補助額(円)	交付対象経費(円)	一般財源(円)	その他(円)	事業の成果	事業の実施による効果検証
1	単	35	衛生確保事業	健康環境課	①町民の公共施設等利用や相談窓口などの消毒液等を購入し、感染症拡大防止対策に努める。 ②消毒液等を購入するための経費に充当 ③感染拡大防止に係る消耗品等 1,000千円 アルコールタオル@600*80*1.1=52,800円 詰替え@400*560*1.1=246,400円 アルコールディスペンサー@5,500*6*1.1=36,300円 ウェットティッシュ@600*20*1.1=13,200円 おそうじシート@4,353*4*1.1=19,153円 おそうじシートウェット@4,039*6*1.1=26,657円 温湿度計@2,200*10*1.1=24,200円 乾電池@5,320*24*1.1=140,448円 吸水ワイパー@2,080*20*1.1=45,760円 サーキュレーター@5,200*11*1.1=62,920円 せっけん液@12,500*1*1.1=13,750円 消毒液@1,200*2*1.1=2,640円 種子消毒液@900*18*1.1=17,820円 マスク@900*2*1.1=1,980円 トリガー式スプレーボトル@700*20*1.1=15,400円 ニトリルグローブ@6,500*20*1.1=143,000円 ポリエチレン手袋等136,840円 ④公共施設	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.4	R4.3	875,932	-	845,000	30,932	-	・役場庁舎等の公共施設、学校、幼稚園等における衛生用品の購入 ・感染予防に必要な備品等を購入の上学校等に配備	不特定多数の来庁が見込まれる役場庁舎において、衛生用品等の配備により安心して来庁できる環境を整えることが出来た。 また、学校等の教育施設においても、子どもが安心して生活できる環境を整えることが出来た。
2	単	36	避難所感染症防止対策事業	総務課	①災害時の避難所として指定されている施設の感染症対策として、飛沫感染防止のためのパーティション及び簡易テントを購入する。 ②パーティション等購入に関する経費に充当 ③飛沫感染防止のためにパーティション等購入費 1,000千円 避難所受付用パーティションスクリーン スクリーン単価 @10,000 × 90セット ×1.1 ④災害時の避難所指定施設	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R3.9	R3.12	967,450	-	967,000	450	-	避難所における感染対策用品を整備	災害時の避難所運営における感染症対策用品の整備をし、避難所における感染拡大防止の準備を行うことができた。
3	単		店舗等家賃借料補助事業	産業課	まん延防止等重点措置(8月8日～9月30日)による時短営業や外出自粛により売上げが前年度同月と比較し20%以上減少した事業者に対し家賃の補助を行い事業の継続を促す。 ①時短営業や外出自粛により売上げが減少している事業者への事業継続のための家賃を補助する。 ②3,150,000円(補助金、事務経費) ③補助金3,000,000円(@25,000円×2カ月×60事業所)、事務経費(5%)150,000円 ④補助対象期間は2カ月(8・9月分)、補助額は上限5万円(1カ月25,000円×2カ月)、対象者は町内に店舗又は事業所を構え町内で事業を営む事業者	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R3.10	R4.2	1,919,121	-	1,919,121	-	-	家賃の補助	まん延防止等重点措置による時短営業や外出自粛により売上げが対前年度比20%減少した事業所に対して家賃の補助を行うことにより固定費の負担軽減や事業継続への支援ができた。
4	単		感染拡大防止経費補助金	産業課	新型コロナウイルス感染症対策として、事業所が購入している用品等の購入費の一部を補助し感染拡大防止を図る。また、事業所により必要としている用品が異なることから対象経費を感染対策用品として有効に活用してもらう。 ①日頃から感染症対策をすることにより感染拡大を防ぐ。また、用品の経費を補助することにより事業所の負担を軽減する。 ※基本的対処方針 P37.49.50 ②19,488,000円(補助金、事務経費) ③購入費用上限50,000円 マスク、消毒液、検査キッドなど消耗品、空気清浄機、非接触型アルコールディスペンサーなど備品。 ④464事業所×80%(申請件数見込)×50,000円=18,560,000円、事務経費(5%)928,000円	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.10	R4.3	7,573,385	-	7,573,385	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策用品の購入費補助	事業所が購入している感染症対策用品の購入費を補助することにより事業所全体での感染拡大防止対策や日常的な意識づけができた。
5	単		鏡石町大型モニターWeb会議環境整備備品購入	総務課	①新型コロナウイルス感染症対策として、職員研修や複数人同士のWeb会議が行えるよう、関連備品の購入をする。 ②Web会議用備品の購入に要する経費 ③726,000円(備品購入一式) 65型モニター@358,400×1台×1.1 ディスプレイスタンド@86,000×1台×1.1 Web会議システム導入経費 (カメラ、スピーカー含)@146,700×1台×1.1 マウントキット@15,900×1本×1.1 組み立て・設置費用@53,000×1式×1.1 ④鏡石町役場	③-I-3. 感染防止策の徹底	①3密対策	R3.12	R4.3	609,180	-	609,000	180	-	大型モニターWeb会議システムの導入により、複数人同士のオンライン会議の実施が可能となり、人と人との接触機会の減少に努めることで感染リスクの低減が図られた。 また、モニター、カメラ、スピーカーをスタンド形式で一体的な管理とすることで、準備作業が必要なく、すぐに会議が開催できる環境づくりに努めることができた。	オンライン会議の環境を構築したことで、会議の利用だけでなく、大人数でのオンライン配信されている職員向け研修や各種セミナーへの参加が可能となり、研修受講体制の効率が格段に良くなった。また、併せて、移動時間の短縮、交通費の削減にも繋がりが、大きな効果を得られた。

令和3年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	総事業費(円)	国庫補助額(円)	交付対象経費(円)	一般財源(円)	その他(円)	事業の成果	事業の実施による効果検証
6	単		登記課税連携システム構築事業	税務町民課	①現在、紙ベースで受渡しを行っている登記異動情報について、法務局から提供される登記情報の電子データでの受取りにし、課税業務で適切に活用するためのシステムを構築することにより法務局への訪問による不特定多数の利用者及び法務局職員との濃厚接触機会を減らすことが可能となり、また、登記データの確認を必要とする庁内各課においても、PCで閲覧可能となることにより、接触機会を減少させることができる。さらには、登記情報の公簿閲覧を希望した住民に対しても、公簿を出す必要がなくなるため、接触機会を減少させることができる。それによる新型コロナウイルスへの感染リスクを軽減することを目的とする。 ②システムの導入に係る業務委託料(土地家屋台帳履歴管理、課税連携) ③システム導入費 16,000千円 ④職員	③-I-3. 感染防止策の徹底	④行政IT化	R4.3	R5.1	15,675,000	-	15,675,000	-	-	登記課税連携システムの導入	紙ベースで行っていた法務局からの登記情報を電子データでの受け取りにすることで、法務局への訪問による不特定多数の利用者及び法務局職員との濃厚接触となる機会を減らすことができた。また、登記データの確認を必要とする庁内各課においても、PCで閲覧可能となったうえ、公簿閲覧を希望する住民に対しても、紙媒体の公簿の確認のうえ、閲覧としていたが、該当箇所を印刷し閲覧してもらうだけとなり、接触機会が削減され、感染リスクを可能な限り抑えることができた。
7	単	106	子育て世帯への臨時特別給付金支給事業(上乘せ・横出し)	福祉こども課	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しその影響が様々な人々に及ぶ中、子育て世帯については、子供たちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付の所得制限により給付金を受け取れなかった世帯等の0歳から高校3年生までの子供たちに1人当たり10万円の給付を行い、子育て世帯の経済的・心理的負担軽減を図るため。 ②対象児童1人につき10万円給付する。 ③給付金:100,000円×50名(年収960万円以上40名、離婚ひとり親世帯等10名)=5,000,000円、事務費 需用費(消耗品費):10,000円、役務費:10,000円 ④養育者の年収が960万円以上(扶養親族等が3人の場合の目安)である世帯、親が別居中又は基準日(R3.9.30)以降に離婚している場合で18歳以下の子供と同居しているのに給付金を受け取れないひとり親世帯等	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	②いずれも該当しない	R4.1	R4.3	4,120,000	-	4,120,000	-	-	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付の所得制限により給付金を受け取れなかった世帯等の0歳から高校3年生までの子供たちに1人当たり10万円の給付を行った。 ①所得制限超過世帯 支給者数26名、児童数36名 ②離婚ひとり親世帯 支給者数3名、児童数5名	該当する子育て世帯に給付金を支給したことによって、子育て世帯の経済的・心理的負担軽減が図れた。
8	単	35	衛生確保事業	健康環境課	①町内公共施設等における感染症拡大防止対策のため、消毒液等の衛生材料を購入する。 ②消毒液等の衛生材料を購入するための経費に充当 ③感染拡大防止に係る消耗品等 2,734千円 消毒液(3,690円×120個+16,500円×60個)*1.1=1,576,080円 液体石けん(800×60個+4,000円×120個)*1.1=580,800円 消毒シート(1,000円×60個+800円×60個+5,400円×20個+3,000円×20個)=303,600円 抗原検査キット 13,650円×20セット=273,000円④町内公共施設等 ④町内公共施設等	③-I-3. 感染防止策の徹底	①3密対策	R4.1	R4.3	1,858,516	-	1,858,000	516	-	役場庁舎等の公共施設、学校、幼稚園、高齢者施設等における衛生用品の購入	感染リスクが高いと想定される各種施設において、消毒液、アルコールシート等の消毒物品を配分することにより、安心して利用できる環境を整備することが出来た。
9	単		鏡石町水稲農家支援特別給付金事業	産業課	①新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少した水稲農家に対する営農継続支援 ②米価下落に伴う減収に対する営農継続支援経費 ③1俵600円の給付、63,000俵 ④水稲を耕作して出荷する農家	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	②いずれも該当しない	R4.1	R4.3	27,700,100	-	23,314,000	4,386,100	-	新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが減少した水稲農家に対する営農継続支援として254戸の経営体に支援金を交付することにより、水稲の営農継続が図られた。	支援の実施により、全水稲面積を減少することなく作付けが行われた。
10	補		学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①学校の感染症対策等を徹底し、児童・生徒の教育活動を支援する。 ②感染症対策等の学校教育活動支援経費(補助率1/2) ③感染症予防消耗品465千円 ・消毒液@7,700×20箱=154,000円 ・ペーパータオル@3,685×20ケース=73,700円 ・ごみ袋@6,600×13ケース=85,800円 ・石鹸液@4,158×10本=41,580円 ・手袋@319×342袋=109,098円 ④第一小学校、第二小学校、鏡石中学校	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	①3密対策	R3.12	R4.2	463,468	225,000	225,000	13,468	-	感染症防止対策消耗品(消毒液・ペーパータオル等)の購入	感染対策のための石鹸、消毒液やペーパータオルなど購入し、手指の消毒を行うことで、ウイルスの除去ができ、児童・生徒及び教職員の感染防止対策に繋がった。

令和3年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	国庫補助額 (円)	交付対象経費 (円)	一般財源 (円)	その他 (円)	事業の成果	事業の実施による効果検証
11	補		学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(学校等における感染症対策等支援事業) ①学校教育活動の着実な継続のため、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要となる物品の購入等を行う。 ②学校等における感染症対策等支援経費(補助率1/2) ③感染症予防消耗品2,941千円・備品1,271千円 【消耗品】 ・消毒液@7,700×70箱=539,000円 ・ペーパータオル@3,685×75ケース=276,375円 ・ゴミ袋@6,600×90ケース=594,000円 ・石鹸液@4,158×47本=195,426円 ・手袋@319×550袋=175,450円 ・CO2モニター@8,250×12台=99,000円 ・ニトリルグローブ@3,850×50箱=192,500円 ・お掃除シート@275×400袋=110,000円 ・ほうき@35,000×3セット=105,000円 ・マジックリン@2,000×50本=100,000円 ・ティッシュペーパー@3,800×50箱=190,000円 ・クイックルワイパー@4,070×50本=203,500円 ・アクリルパーテーション@16,000×10枚=160,000円 【備品】 ・加湿器@19,800×9台=178,200円 ・空気清浄機@132,000×2台=264,000円 ・送風機@83,300×4台=333,200円 ・送風機@121,000×2台=242,000円 ・保健室カーテン@253,000円×1式=253,000円 ④第一小学校、第二小学校、鏡石中学校	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	①3密対策	R4.1	R4.3	4,066,956	2,025,000	2,025,000	16,956	-	感染症防止対策消耗品(消毒液・Co2モニター等)・備品(空気清浄機・加湿器・大型送風機等)の購入	感染対策のための消毒液や手袋、CO2モニター、また、備品として空気清浄機や送風機を購入し、手指の消毒や室内の掃除、室内の喚起や空気の入れ替えを行うことで、ウイルスの除去ができ、児童・生徒及び教職員の感染防止対策に繋がった。